

現在、全日本柔道連盟では「MINDプロジェクト委員会」を立ち上げ、柔道の人間教育の原点に立ち返ろうと、様々な取組が進められています。MINDとは、

M	…	Manners	礼 節
I	…	Independence	自 立
N	…	Nobility	高 潔
D	…	Dignity	品 格

を意味します。

岐阜県柔道協会でも、本年度MINDプロジェクト活動を推進しています。これまでに社会人実業団や高体連の中で、団体ごとにMIND宣言を掲げ、大会の折に講話を聴く場を設けたり大会プログラムの中で宣言を紹介したりする等の活動を行っています。こうした流れの中で、中体連柔道専門部においても、選手の心身の鍛練、また、将来にわたって社会や他者に貢献できる人間への成長を願い、この活動に取り組んでいくことといたしました。

以下に、今後、各校でご実践いただきたい活動について記載します。各校各部、趣旨をご理解くださって選手の育成に取り組んでいただけますよう、よろしくお願いいたします。

1 指導者、育成者が「MIND」プロジェクトについて知る。

この取組は、選手に向けられたものでありながら、指導者、育成者にとっても責任ある立場として自戒していかなければならない面がたくさんあります。こうした点についても、私達“大人”が、まず、全柔連の掲げる“MIND”とは何か、本来の柔道の目指すものとは何かを知ることが大切です。

詳細は、全柔連発行誌「まいんど」や全柔連HPでご確認ください。

2 各校、各団体における指導体制の中で、どのように「MIND」を位置付けていくか共通理解をする。

指導者の共通理解、育成者の共通理解が必要です。「どんな人を育てていくのか」「なにを目標とするのか」「そのために、何を重点に指導していくのか」等、関わる大人が同じ思いで指導し、見守っていく必要があります。

3 選手と共に「MIND宣言」を策定する。

さしあたって、ということになりますが、大人の願いと選手の願いを織り交ぜながら、部としての「MIND宣言」を作ってください。もちろん、すでに部の中で訓として掲げられているものがあると思います。それで充分なのではないでしょうか。参考例を別項に提示します。

4 具体的な取り組みを計画、実践する。

練習の中、外、大会時等、どんな場面でも出来ることがあります。活動にあたっては選手を必ず価値づけて、チーム全体の姿や力の向上につなげましょう。

特別な活動を、特別に手間をかけて行っていくというものではありません。これまでの中で大切にしてきた礼節等当然の姿を今後も大切にしていこうという発想でよいのだと思います。ただ、もしそこに意味や意義の理解が無かったり、形骸化した形だけの習慣が残るだけであるならば、その意味合いを確かめ、選手も指導者、育成者も理解したうえで「柔道」の現場に根付かせていきたいと考えます。

また、岐阜県柔道協会中学部でも合宿や強化練習会の折に企画を立てていきます。よろしくお願いいたします。

□岐阜県中学校総合体育大会柔道大会におけるMIND宣言の紹介

本年度、中学校総体県大会における団体参加校については、プログラムの中にMIND宣言を紹介いたします。各校各部様には、申し込み様式の中に自校のMIND宣言を記載していただきますよう、お願いいたします。